



第 1214 回例会報告

平成 22 年 3 月 3 日(木) 晴

会長挨拶

会長 長崎政直

セブ島 クリーン・ウォーター・プロジェクト

今日は、うれしい報告をいたします。待ちに待ったセブ島・クリーン・ウォーター・プロジェクトの最終報告書 (final report) を、2月28日にRIに提出したというメールがガダルーペRCから届きました。訳したものをレターボックスに入れておきました。

去年の6月、さらに11月、セブ島訪問をし、報告書の提出を要請したのに、ギリギリの2月28日にやっと提出するというガダルーペRCの悠長な対応に、それがフィリピン・ウェイだと言われても、私達、日本人には、納得がいかないものがありますが、とにかく、嬉しい知らせです。

無論、RIで受理されて、はじめて事業終了となるわけですが、このプロジェクトに、中心的に関わられた小松さんも一安心というところだろうと思っていますし、サブとして関わられた溝口先生や西沢さん、そしてこの事業に関心を持たれていたクラブの会員の皆さんも、胸をなでおろすということではないかと思っています。

ちょっと早いかもしれませんが、小松さん、大変、ご苦勞様でした。

私自身は、一つには、会長としての責務として、二つ目には、ちょっと息抜きの意図もあって、一昨年から3度、セブ島訪問をしました。それは、この事業の始まりや、経過を良くわからないままの最終段階での関わりで、なんの貢献も出来ませんでした。が、事業の成り行きはしっかり見ておくというつもりでしたから、課題も少しは客観的に見る事が出来るような気がしています。

今回のマッチンググラントは、諏訪湖RCでは小林強年度に難聴の子供達に補聴器を贈るプロジェクトがなされ、それ以来2度目の試みで、自力での初めてのプロジェクトでした。国際奉仕活動について、マッチング・グラントについて、多くのことを学んだと思っています。国際奉仕委員会でしっかり評価をし、次なるステップへ進めて欲しいと思っています。

鍵になるのは「セブ島人の自立」ということではないかと思っています。溝口先生・高林さん・林さん・西沢さ

ん・羽吹さんが関わったグローリー・ベスの自立は、ひとつのモデルだと思っています。

セブ島人が、様々な外国のボランティア・グループの援助を受けながら、自立していく。掘り抜き井戸も自前で作れるようになるという進歩です。それは大変困難なことかもしれません。でも盲目のグローリーベスには、幸運だったかもしれません。出来たのです。

前回訪問の時、現地で、そうした思いの中で、プルメリアというNPOで教育という分野で頑張っている濱野さんという日本人からお話を聞きました。本日、その懇談会の記録もレター・ボックスに入れておきました。彼は、最初、ほんのちょっと、お手伝いというつもりで参加し、恵まれない子供の教育に関わるうちに、一人でも良い、そうした自立するセブ島人を創り出し、その人が核になってセブ島が、セブのコミュニティが、自立をしていくことを夢見て、とりあえず資金が続くかぎり、出来るところまでは頑張るんだと決めています。

是非お読みいただいて、次なる支援を考える参考にして欲しいと思っています。

◇幹事報告◇

- 以下の文書を受領・配布致しました。
 - ①ウィークリー(岡谷RC・諏訪RC)受領致しました。
 - ②岡谷市制施行75周年記念式典が4月1日に開催との案内通知を受領致しました。
 - ③茅野RC30周年記念式典列席御礼通知を受領し致しました。
 - ④D2600ローターアクト広報誌「2600Times第2号」を受

■ニコニコ BOX

25名	29,000円
累計	942,000円
目標額	130万円
達成率	72.4%

■今週のことば

本日3月3日は、恥ずかしながら私の誕生日です。71才になりました。目出度くもないですね。

林 洋三

■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	25名
出席率	71.4%
前回修正	80.0%

■次回のプログラム

3月17日
環境問題への
取り組み状況発表
社会奉仕委員会



領し配布致しました。

⑤ロータリーの友3月号を配布致しました。

2. 連絡事項

①「ユネスコ世界寺子屋運動キャンペーン・書き損じハガキ回収運動」にご協力をお願いしておりましたが2月末日296枚を送付致しました。

②WCSセブ島支援クリーンウォータープロジェクトの最終報告書がフィリピンガダルーペRCから提出されました。長崎会長翻訳による要約日本語を配布致しましたので御一読下さい。

委員会報告

新世代活動委員会

3月24日の例会は夜間例会となります。お間違いなく。内容は一昨年開催されたRYLA参加青年との交流会です。参加青年には招待の案内状を差し上げてありますが、参加青年を紹介していただいたメンバーは、ぜひ出席するようお声掛けをお願いいたします

3月6日開催のIMの報告は次週号にて行います。

1214回例会「時流を読む」

伴在賢時郎氏
広報委員会

本日は長野日報代表取締役専務・編集担当の伴在賢時郎氏をお迎えし、「時流を読む」とした現在の混迷する政局の解説をいただきました。わかりやすい解説でしたが、時間が短いのが残念でした。

【迷走する政局】

■今の国会での焦点は予算案、予算関連法案が可決できるかどうか。

いつの通常国会でもこの2つが焦点だが、今回だけなぜこの問題が取りざたされるのか？

衆参国会議員数

【衆院】与党系 312 野党系 168 欠員 2(480だが実質は478)。3分の2は318人。社民6 公略21 みんな5

【参院】与党系 110 野党系 132 計 242

①菅首相退陣で局面打開＝公明は首のすげ替えが条件で方針が変 わらないといっている。もちろん自民も社民も。首相は「退陣はしない」と言っている。この局面を打開できるウルトラ C は見当たらない。「政治の世界は一寸先は闇」だから、何が起こるか分からない。どう変わるかも分からない。

社民も公明も「落ち目の民主」に協力して、統一地方



選やその後の国政選挙に有利になるという判断はないから、民主には協力しないという側面も見逃せない。

②話し合い解散。民主が 305 議席も確保しているのに、「解散する馬鹿はいな」とする意見も。総選挙をすれば民主は大敗するという見方がもつぱら。政権政党を滑り落ちる愚を犯すか

③大連立選挙管理内閣を組織しての 6 月解散＝これしかないのではないかと。自民・公明は倒閣・総選挙を目指している。どのような連立になるか。民主、自民、公明、あるいは「みんなの党」とも。総選挙後、新たな枠組みで大連立内閣を組織し、懸案政策を処理していく図式がベター。会期末の 6 月まで行って解散。

【菅政権発足後、地方の選挙で民主の敗北が続き「地方の異変」が一層あらわになった】

①10年10月24日、北海道5区補選で自民の元官房長官・町村信孝氏が10回目の当選。北教組の違法献金問題で辞任した民主の小林千代美衆院議員の辞職に伴う補選。町村氏は比例で復活当選しているにもかかわらず、議員を辞めて小選挙区当選にこだわった。結果は3万票の差を付けて民主の中前茂之氏に圧勝。

永田町感覚では「小選挙区バッジは金バッジ」「小選挙区で負けて比例区復活当選は銀バッジ」「比例代表は銅バッジ」。派閥の領袖としては「復活の銀バッジ」では格好が付かない。肩身が狭い。想像以上に大きな意味を持つという認識が必要。

②11月14日投開票の福岡市長選。自民・公明市議団が支援した新人の高島宗一郎氏当選。36歳。政令指定都市では千葉市長の熊谷俊人市長の32歳に次ぐ若さ。民主などが推薦し再選を目指した現職の吉田宏・54歳が敗北。64700票差で惨敗。選挙に勝てない民主党の姿が定着しそう。

③11月21日松戸市議選(定数44)。民主は11人を擁立したが、当選は新人2人のみ。現職4人が落選、民主真っ青。6月の市長選では民主推薦の新人が現職を破って当選したのに、わずか5カ月で状況は一変。与党2人では議会運営も前途多難。

④11月26日管首相の地元でもある西東京市議選(定数28、立候補34人)で7人を擁立したが3議席にとどまった。現職4人落選。現有は5人だった。

⑤12月12日茨城県議選。民主は23人の公認候補を立てて、現有と同じ6人しか当選しなかった。元々茨城は保守王国の県だが…。

⑥2月6日愛知県知事選、名古屋市長選、市議会リコールの住民投票のトリプル選挙。民主王国の愛知で惨敗。大村前衆院議員、前河村市長が圧勝した。市民税10%減税、議員報酬半減などで議会と対立・反目していた。3月初めに行われる予定の市議選(定数75)で河村与党をどの程度当選させることができるか注目される。(以下略・ホームページ記載予定です)